

2014年合格目標 20ヵ月本科生<スタンダード>

無料公開セミナー&講座説明会

『司法書士の拡がる職域、可能性』

担当講師 司法書士 土屋 武大

## 1. 資格・士業とは？司法書士とは？

(1) 資格を取得する意味

(2) なぜ士業が必要なのか？

(3) 司法書士の主な業務

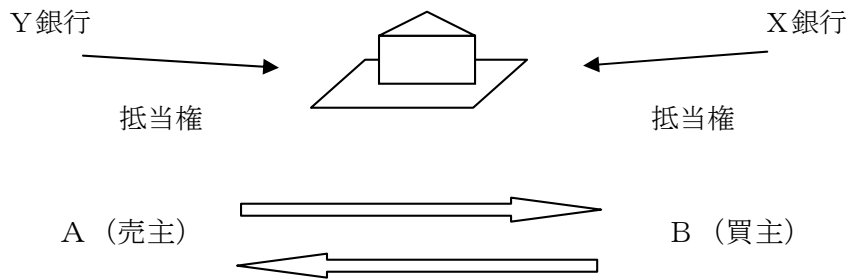
- ① 不動産登記に関する業務
- ② 商業登記に関する業務
- ③ 裁判書類作成関係業務
- ④ 簡裁訴訟代理等関係業務
- ⑤ 成年後見に関する業務
- ⑥ 供託に関する業務
- ⑦ 相談業務

## 2. 司法書士業務の実例

(1) 不動産登記に関する業務

『立会い』とは？

たとえば、不動産の売買に際して必要となる、売主（前所有者）のローン返済にともなう抵当権抹消、売主（前所有者）から買主（新所有者）への所有権移転、買主（新所有者）へのローンにともなう抵当権設定等について、司法書士は当事者の代理人として決済に立会い、真正な登記を実現することにより、その不動産取引を安全なカタチで完成させる役割を担っている。



## (2) 商業登記に関する業務

株式会社等の会社は、その商号、本店、資本金、役員等の法定事項を登記簿に記録して公示することが法律上義務づけられている。これにより、商業登記制度は取引主体としてのその会社の信用を保持し、また取引そのものの安全を保護する役割を担っている。

### 『企業法務のコンサルタント』

⇒コンプライアンス（法令遵守）の重要性

<具体例>

- ・会社（株式・合同・合名・合資）、各種法人、組合等の設立
- ・増資、役員変更、商号変更、目的変更、本店移転
- ・合併、会社分割、株式交換、株式移転、解散、清算終了
- ・株主総会招集、開催の指導
- ・各種議事録等の作成

## (3) 裁判書類作成関係業務・簡裁訴訟代理等関係業務

### ①裁判書類作成関係業務とは？

### ②簡裁訴訟代理等関係業務とは？

- ・簡易裁判所での様々な手続についての代理
- ・裁判外での和解の代理や相談

※なお、これらの簡裁訴訟代理等関係業務は、いずれも、請求額が簡易裁判所の事物管轄（140万円）を限度とする民事紛争において、法務大臣が指定した研修を修了し、認定を受けた司法書士が行うことができる。

#### (4) 成年後見に関する業務

成年後見制度は精神上の障害（知的障害、精神障害、認知症など）により判断能力が十分でない方が不利益を被らないように家庭裁判所に申立てをして、その方を援助してくれる人（**成年後見人**）を付けてもらう制度である。

この成年後見制度の担い手として司法書士は専門の機関（成年後見センター・リガルサポート）を立ち上げ、**高齢者や障害者の財産管理**を通じて**権利擁護**に取り組んでいる。

### 3. 司法書士の報酬

司法書士が業務を行ったときに受ける報酬については、各**司法書士が自由に定めること**になっている。自由といっても、会則では、司法書士の報酬は、その額や算定方法・諸費用を明示し、依頼者との合意によって決定することとされている。

### 4. 司法書士資格取得後の選択肢

- (1) 単独事務所開業
- (2) 共同事務所開業もしくは参加
- (3) 司法書士法人設立もしくは加入（社員・使用人）
- (4) 他士業との合同事務所設立もしくは参加
- (5) 一般企業への就職（企業内法務部、金融機関、不動産会社など）

### 5. 開業後の事件の受託

- (1) 金融機関
- (2) 不動産業者
- (3) 税理士・公認会計士、弁護士、土地家屋調査士、行政書士等の他士業
- (4) 依頼者本人（個人、企業）等

### 6. 司法書士の現状と未来、その魅力

『司法書士は可能性を秘めた資格』